

# 競技注意事項(案)

## 1. 規則について

- ・本大会は、2016年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項にて行う。

## 2. 練習場について

- ・サブトラック・正面玄関付近の雨天練習場にて練習を行うこと。それ以外の練習は他の選手、一般の方の迷惑にならないように十分配慮すること。
- ・ハードルは雨天練習場のみ使用可能とする。
- ・投擲練習は禁止する。練習は二次招集後に投擲審判員主任の指示のもとで行うこと。

## 3. 招集方法

- ・一次招集はアサダスタジアム指定の場所にて行うこととする。(最終ページ図1参照)
- ・トラック種目の一次招集開始直前に腰ナンバーカードを配付する。
- ・腰ナンバーカードの確認後、5000m・10000m・10000mWに関しては長距離専用別ナンバーカードを配付する。
- ・選手自身がコール用紙の自分のレーンナンバーに○をつける。その際ナンバーカードのついたユニフォーム(上下)、スパイクを競技者本人が持参すること。
- ・2次招集(最終招集)は現地にて行うものとする。
- ・招集時間は下記の通りである。

	一次招集開始時刻	一次招集完了時刻	二次招集時刻
トラック種目	競技開始50分前	競技開始30分前	競技開始10分前
フィールド種目	競技開始60分前	競技開始40分前	競技開始30分前
棒高跳	競技開始90分前	競技開始70分前	競技開始60分前

※ 上記の時刻はタイムテーブルを基準とする。

※ 混成競技の招集時間は「混成競技申し合わせ事項」に従う。

- ・リレーの招集は、競技者4人も受けること。(ただし、他の競技に出場している選手に関しては、重複出場届を提出している場合のみ代理を認める。)
- ・リレーのオーダー用紙は、一次招集開始60分前までに競技者係へ提出すること。リレーオーダー提出後の選手変更は原則認めない。
- ・同一時間に2種目以上出場する競技者および競技中のため他のエントリー種目の一次招集を受けない競技者は、一次招集完了時刻までに重複出場届を競技者係に提出すること。
- ・重複出場届を提出した場合も、必ず本人または代理人が一次招集を受けなければならない。その際重複出場届を持参すること。
- ・リレーのオーダー用紙・重複出場届・当日棄権届は受付または競技者係にて受け取ること。

## 4. 棄権について

- ・事前棄権することが決まった者は、事前棄権用紙に必要事項を記入し、大会前日の18時00分までに関西学連事務所(06-6442-8771)までFAXにて送信すること。
- ・当日棄権は原則として認めない。やむを得ず棄権をする場合は、当日棄権届を競技者係にて配布するので、その用紙に必要事項を記入し大会本部の総務に提出して承認を得ること。その後、総務より棄権者届の下半分を受け取り、一次招集完了時間までに、競技者係に提出すること。混成競技の途中棄権についても同様とする。
- ・招集(一次招集・二次招集)に遅れた者は棄権とみなし、出場を認めない。

## 5. 競技者の服装について

- ・ナンバーカードは平成28年度学連登録のナンバーカードを必ず胸、背部にしっかりつけること。ただし、跳躍種目については胸部または背部だけでよい。
- ・トラック種目については腰ナンバーカードを競技者係で受け取り、右腰につけること(1500m以上は両腰につけること)。

- ・リレー競技に限らず同一大学は同一のユニフォームを着用すること。セパレートユニフォームを使用する場合も、色・デザインは統一させておくこと。
- ・競技場は全天候舗装であるので、使用するスパイクのピンの長さは、トラック・フィールド共に9mm以下とする。但し、走高跳・やり投については12mm以下とする。

#### 6. 競技について

- ・トラック種目において人数の都合上1レーンに2人の選手が走る場合がある。
- ・トラック競技の走路順、フィールド競技の試技順はプログラム記載順の上から下とする。
- ・競技会において競技者はビデオ、カセットレコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器をトラック及びフィールド内に持ち込めない。
- ・競技中の選手に対する助言は2016年度日本陸上競技連盟競技規則に従う。また、フィールド競技に関しては現場の審判員がトラック競技の進行に注意しながら許可を与えた上でコーチ席に助言を聞きに行くことができる。ただしコーチ席以外での助言行為は禁ずることとする。審判員の指示に従わない場合は選手・コーチに警告を与え、さらに続いた場合は審判長・総務・ヘッドコーチ等で協議し対処する。

#### 7. 競技用器具について

- ・使用器具は原則として、競技場備え付けのものを使用する。
- ・やりは、検定を受け承認されたもののみ使用できる。やりの受付は、競技開始90分前に100mスタート前用器具庫内で行う。
- ・棒高跳用ポールの輸送については、各大学の責任で行うこととする。
- ・競技場の器具を破損した場合は、当該者の所属団体より必要代金を徴収する場合がある。

#### 8. トラック競技について

- ・トラック競技の計時は写真判定(1/100秒)とする。但し、装置の故障等のトラブルが生じた場合、手動計時(1/10秒)とする。

#### 9. 不正スタートについて

- ・不正スタートを行った競技者はすべて失格とする。
- ・不正スタート発見装置は使用せず、目視で判定する。
- ・不正スタートの判定に対する参考材料として、ビデオ撮影を行うことがある。

#### 10. フィールド競技について

- ・走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、下記のように行う。

	種目	ピット	試技開始	備考
男子	走高跳	Aピット	1m60cm	1m90cmまで5cm刻み、以降3cm刻み
	棒高跳	Aピット	4m20cm	4m80cmまで20cm刻み、以降10cm刻み
女子	走高跳	Bピット	1m35cm	1m65cmまで5cm刻み、以降3cm刻み
	棒高跳	Aピット	2m20cm	3m00cmまで20cm刻み、以降10cm刻み
七種	走高跳	Aピット	1m30cm	1m50cmまで5cm刻み、以降3cm刻み
		Bピット	1m10cm	

- ・三段跳の踏み切りの位置については、男子は13m、女子は10mとする。
- ・男女ともに棒高跳、走高跳においてジャンプオフを行なう場合がある。
- ・投擲種目の公式練習は、2投までとする。
- ・混成の投擲種目の公式練習は、1投とする。

#### 11. 得点について

- ・男子全種目（オープン種目を除く）について、下記の通り得点を加算する。

順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位
対校得点	6点	5点	4点	3点	2点	1点

## 1 2. 抗議の申し立てについて (規則第146条)

- ・競技進行中に起きた競技者あるいはチームの行為、または順位に関する抗議の申し立ては、結果が正式に発表(アナウンス)されてから決勝及びオープン種目の場合は30分以内、次のラウンドが行われる競技では15分以内に、本人もしくは監督から口頭で審判長に申し出なくてはならない。

## 1 3. 開閉会式について

- ・開閉会式は、全選手フィールド内に部旗を先頭に10分前に集合、整列すること。また、その際芝生に入らないようにすること。

## 1 4. 表彰について

- ・各種目3位までに入賞した競技者は表彰を行う。競技結果発表後、大会本部の表彰係まで来ること。
- ・表彰の服装は上:所属大学のチームユニフォーム、下:チームジャージと指定する。
- ・大会最終日の競技終了後、兵庫インカレ最優秀選手の表彰を行う。最優秀選手に選ばれた競技者(男女1名)は、表彰係の指示に従うこと。

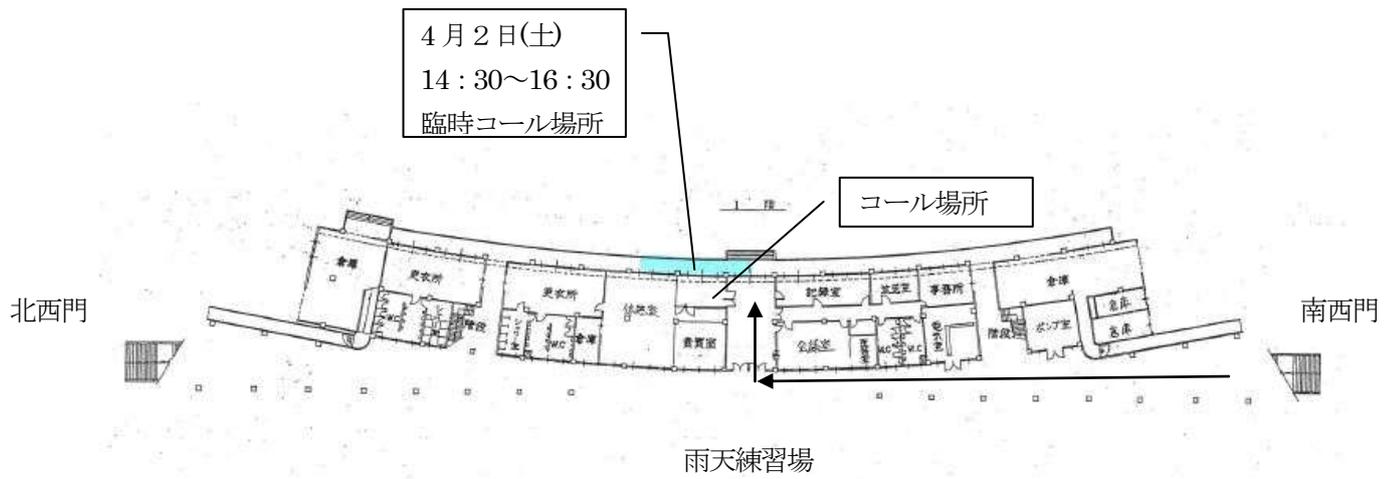
## 1 5. 競技場使用の注意

- ・北西門は閉鎖し、南西門のみ開放とする。ただしサブトラックへの通行に限り北ゲートの通行を可能とする。
- ・開門は午前9時00分、閉門は閉会式終了の30分後とする。
- ・メインスタンドでの、のぼり・横断幕等の設置は禁止する。
- ・ゴミは各大学が責任を持って持ち帰ること。
- ・屋内においては、必ずスパイクシューズを脱ぐこと。
- ・学生補助員・学生審判員についても同様であり、十分に注意すること。

## 1 6. その他

- ・本大会参加校は定められた人数の学生審判及び学生補助員を派遣しなければならない。派遣しなかった場合、または、その業務を果たさなかった場合はその大学の以後の出場を中止させる場合がある。
- ・フィールド種目、リレー種目でマーキングに使用するテーピング等は、使用后必ず撤去し持ち帰ること。
- ・記録は晴天の場合、南側の入り口付近で記録掲示板に掲示する。雨天の場合は受付付近で行う。
- ・競技場内の更衣室・備え付けのシャワーは使用可能である。
- ・競技中に発生した障害、疾病についての応急処置は主催者側で行うがそれ以降の責任は負わない。ただし、2016年度(公社)日本学生陸上競技連合普通会員は、原則としてスポーツ安全保険に加入しているので、この保険が適用される場合がある。
- ・注意事項及び学生競技者としてのマナーを逸脱した行為などが見受けられた場合、その当該者の所属する大学の以後の競技を中止させ、処罰を与える。
- ・荷物の管理は各自で行うこと。紛失・盗難に関して主催者側は一切の責任を負わない。
- ・車ででの来場はできるだけ控え、公共交通機関を利用し来場すること。
- ・競技場内は喫煙禁止とする。
- ・芝生内は競技時以外立入禁止とする。
- ・トラック及びフィールド内、また招集場所での携帯電話・音楽再生機器・無線機などの電子機器の持ち込み・使用を禁止する。
- ・大会当日に不明な点があれば、大会本部で承る。

(図1)



関西学生陸上競技連盟 兵庫支部